※　未提出者への督促後に新たに提出（入力）されたレポートも含めた集計結果です

※　以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 1～10）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。　①:あてはまる　②:ややあてはまる　③:あまりあてはまらない　④:あてはまらない

設問 1　シラバスに沿って授業を行えた。

①:15（79%）　②:4（21%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 2　学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:13（69%）　②:6（32%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 3　話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:9（47%）　②:9（47%）　③:1（6%）　④:0（0%）　未回答 0（0%）

設問 4　重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:12（63%）　②:7（37%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 5　学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:13（68%）　②:6（32%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 6　受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:10（53%）　②:9（47%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 7　受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した　等）

①:13（68%）　②:6（32%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 8　授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:9（47%）　②:8（42%）　③:1（6%）　④:1（6%）　未回答:0（0%）

設問 9　総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:12（63%）　②:7（37%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

設問 10　シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:9（47%）　②:10（53%）　③:0（0%）　④:0（0%）　未回答:0（0%）

B（問 11～15）：FD 活動についてお尋ねします。

設問 11　この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。**（複数回答可）**

①他教員の授業参観：　2（11%）

②学内外の FD 講演会等への参加：　12（63%）

③他大学の FD 活動の視察：　0（0%）

④その他：　4（21%）

設問 12　今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。**（複数回答可）**

①他教員の授業参観：　5（26%）

②学内外の FD 講演会等への参加：　12（63%）

③他大学の FD 活動の視察：　2（11%）

④その他：　1（6%）

設問 13　昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、　回答：4 クラス（順不同）

（１）①.レポート、パワーポイント作成方法について

文章作成の基本、剽窃の禁止、引用文献の明示方法などの説明を追加する。

②.課題解決に関するレポートについて

レポート作成時に、パラメータ変更が可能であることの説明と計算をどのように記述すべきかをより丁寧に行う。

（２）グループワークの構成人数を少なくして、発言がしやすくなるように工夫した。

（３）グループ学習の折、2 名から 3 名へのグループへ変更した。

（４）授業評価に基づくものではないが、解説をよりわかりやすいものにした。

設問 14　自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。回答：６クラス（順不同）

（１）外部講師を招いたキャリア教育を行ったが(計 7 回)、回数が多すぎたように感じた。

次年度以降、実施回数の検討が必要と考える。

（２）オムニバス演習や学外実習等が含まれるので，個々の学生の学習状況がつかみにくいが，担当された

各教員から情報を伺い，レポート未提出や欠席について個別に学生に連絡・対処し，単位取得できるよう指導した.

（３）体調不良のため、休講しなくてはならなかったが、やむを得なかった。学生は、よい成果を出したと思う。

（４）評価できる点：アクティブラーニングに力を入れている点

（５）「教科書を読む」という課題のねらいを明確にして、学生に考えさせた。ただし 1 年生にはやや難しい課題にしたので、独力で解答にたどり着いたものはわずかしかいなかった。今後の学習への橋渡しになればよいと考える。

（６）毎回コメントシートを記述させ，学生にフィードバックできる体制を整えたこと。

設問 15　FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル：　なし

C（問 16～18）：中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。

設問 16　授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい：　17（89%）　②いいえ：2（11%）　未回答：0（0%）

問 16 で「はい」の方は問 17、18 にお答えください。

設問 17　下記のどの点を重視しましたか？**（複数回答可）**

①聞いて理解する：　7（37%）

②読んで理解する：　6（32%）

③自分の考えをまとめて話す：　6（32%）

④自分の考えを文章にまとめる：　8（42%）

⑤討論する：　7（37%）

⑥皆の前でプレゼンテーションする：10（53%）

⑦その他：　0（0%）

設問 18　「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答：　５クラス（順不同）

（1）5-6 名の少人数グループ内であるが，全学生に何らかのプレゼンテーション課題を課して，発表してもらった.

（2）3 名で調べ学習の発表を行ってもらった。

（3）小グループに分かれてのチュートリアル教育の実施、ディベートの実施、ワールドカフェ形式のディスカッションの実施

（4）４年生の模擬授業を参観し，授業の意図に関する質疑応答を行った。

（5）グループディスカッションおよびグループ研究発表を導入した授業を実施した。

D（問 19～22）：中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 19　授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい：　10（53%）　②いいえ：9（47%）　未回答：　0（0%）

問 19 で「はい」の方は問 20～22 にお答えください。

設問 20　その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

①１～５回：　11（58%）　②６～10 回：　0（0%）　③11～15 回：　0（0%）

未回答：　8（42%）

設問 21　「地域」のどのような分野を取り上げていますか？**（複数回答可）**

①歴史・文化：　4（21%）　②政治・経済・産業：　3（16%）　③自然環境・フィールド体験：　4（21%）

④その他：2（11%）

設問 22　「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答：　3 クラス

（１）　地元企業の見学を取り入れている.

（２）　フェニックス自然動物園での研修、宮崎県で起きた口蹄疫の事例を通しての感染症学導入教育

（３）　地域内の廃棄物処理施設見学を実施して、地域環境への問題意識を喚起した。